

令和7年度 高知県・高知市 知事・市長及び教育長連携会議

## 高知市教育委員会

### 説明資料

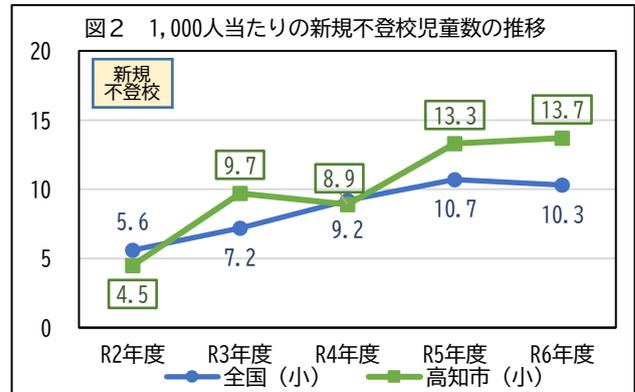
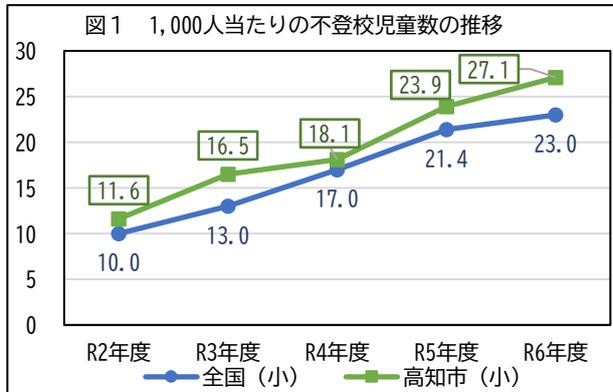
- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ○ 不登校対策について（市資料1）               | 1 |
| ○ 学力向上の取組の成果と課題、今後の取組について（市資料2） | 4 |
| ○ キャリア教育について（市資料3）              | 8 |
| ○ 保幼小連携・接続の取組について（市資料4）         | 9 |

## 高知市における不登校の状況

※ 下記の図の数値については、「高知県生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する調査」及び「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）によるものである

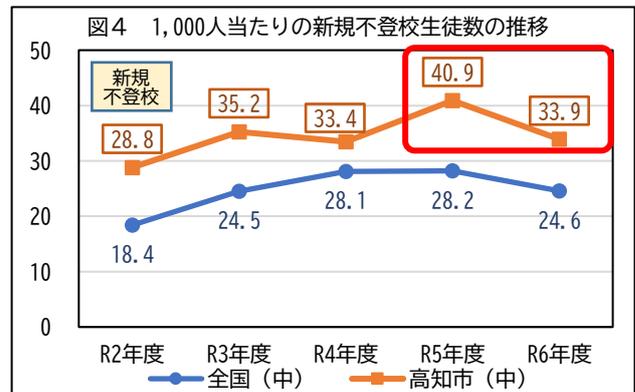
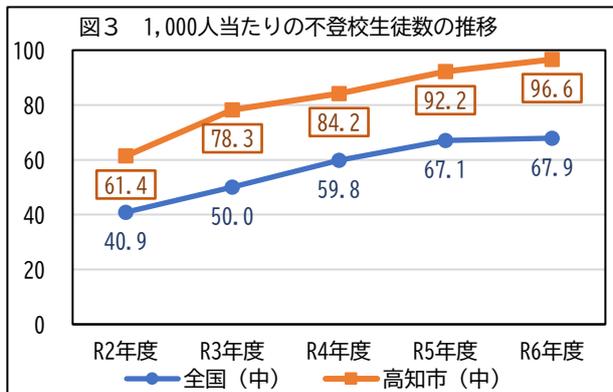
### 1 小学校における不登校児童数の推移（高知市：公立学校、国：国公私立学校）

単位 人

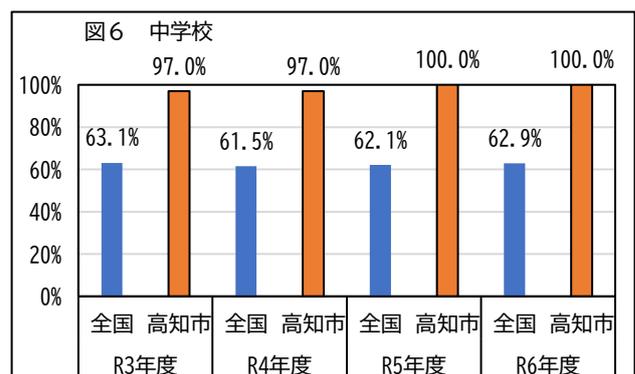
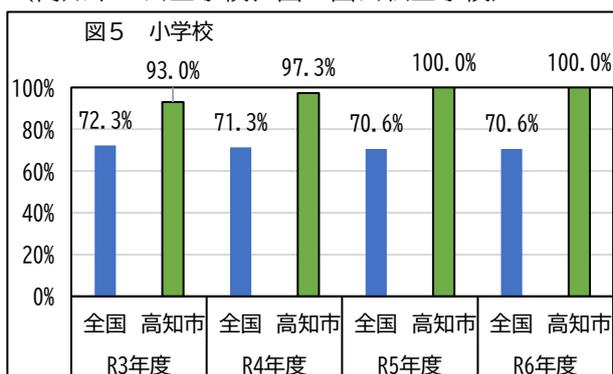


### 2 中学校における不登校生徒数の推移（高知市：公立学校、国：国公私立学校）

単位 人



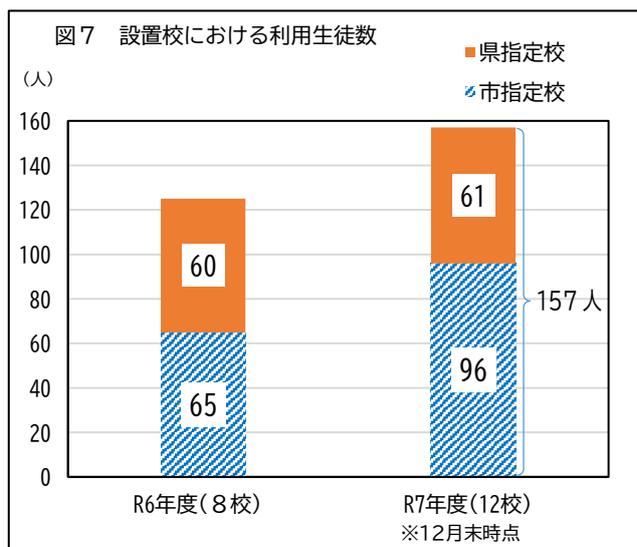
### 3 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた不登校児童生徒の割合（欠席日数が90日以上の方）（高知市：公立学校、国：国公私立学校）



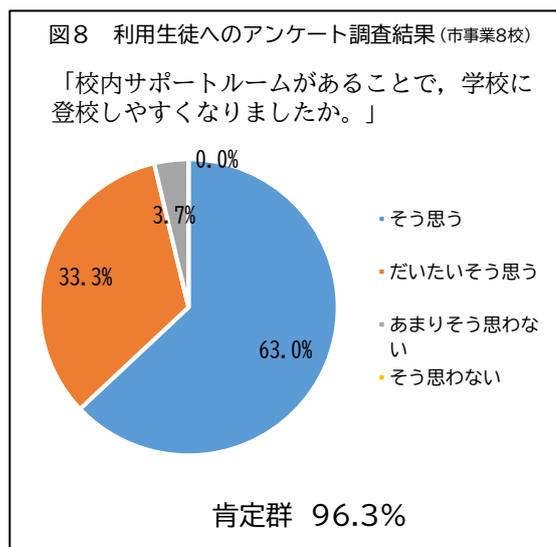
- 令和6年度は、中学校での新規不登校生徒数が減少し、全体の増加の勢いを一定程度抑えることにつながっている。この要因には、本市の「休み始めの対応の統一」による早期対応・早期支援の取組が浸透してきたこと、「校内サポートルームの設置拡充」により学校内での多様な学びの場が確保できたこと、などが挙げられる。【図3・図4】
- 本市が高い支援率を維持できている背景には、本市が各校に不登校支援担当者を位置付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の参加のもと不登校支援会を開催し、専門的な見立てから対応について検討し、必要に応じて福祉部署と連携するなど、組織的な相談支援体制が構築されていること、などが挙げられる。【図5・図6】

#### 4 学校内の多様な学びの場（校内サポートルーム）における支援状況

##### (1) 設置校における利用児童生徒数



##### (2) 利用生徒へのアンケート調査結果



##### (3) 市事業による校内サポートルーム支援員配置校における新規の30日以上欠席生徒の割合

※ 各年度同時期(11月時点)による比較

図9

中学校	事業開始年	R5年度	R6年度	R7年度
A	R6年度	2.3	1.2 ↓	3.6
B	R6年度	1.1	3.1	1.3 ↓
C	R6年度	2.4	2.9	1.7 ↓
D	R7年度	2.1	1.8 ↓	0.7 ↓
E	R7年度	1.5	1.9	0.8 ↓
F	R7年度	2.2	2.5	1.3 ↓
G	R7年度	2.5	3.7	2.6 ↓
H	R7年度	2.6	3	2.4 ↓

※ 各学校をAからHで示す。

※ 校内サポートルームを設置している箇所を網掛けで示す。

##### 【校内サポートルームの取組支援】

- ・ 校内サポートルームの運営に携わる教員や支援員を対象にした研修会の実施（不登校支援ブラッシュアップ研修会・不登校支援スキルアップ研修会・校内サポートルーム支援員連絡会）
- ・ 市指定校における実態把握調査（生徒・教職員アンケート）の実施、各校での活用推進
- ・ 県及び市指定校における不登校支援会（定期開催）に指導主事を派遣
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した支援体制

##### 【成果と課題】

- ・ 市指定校8校中7校において、新規の長期欠席生徒が減少しており、校内サポートルームの取組が登校しづらい子ども達への有効な支援策となっている。増加している1校についても、年度により波はあるものの、個別の状況においては、登校日数が前年度よりも増えるなどの変化が見られている。
- ・ 校内サポートルームは、教室へ入れない児童生徒の学びにとって大変効果が大きく、今後の設置拡充と組織的な支援体制の充実に向けた継続的支援が重要である。

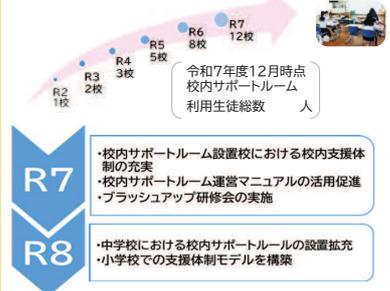
■学校内の相談支援や学習保障

Second place 「校内サポートルーム」

概要  
 ・学校には行くことができるけれども、教室に入りづらい子どもが安心して落ち着ける場所であり、子ども個々の状態に応じた学習支援や相談支援を行う場所。

★ 校内教育支援センター事業

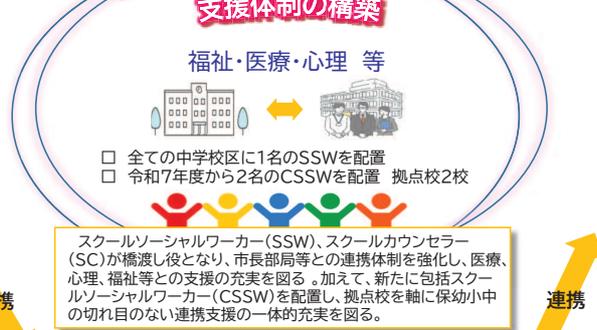
- 校内サポートルーム支援員の配置
- ・ 県指定事業 4校  
 (令和7年度 不登校支援推進プロジェクト事業)  
 (継続) 横浜中、西部中、介良中 (新規) 大津中
- ・ 市事業 8校  
 (令和7年度 校内教育支援センター事業)  
 (継続) 城東中、潮江中、朝倉中  
 (新規) 城北中、城西中、愛宕中、南海中、三里中



- R7
  - ・校内サポートルーム設置校における校内支援体制の充実
  - ・校内サポートルーム運営マニュアルの活用促進
  - ・ブラッシュアップ研修会の実施
- R8
  - ・中学校における校内サポートルームの設置拡充
  - ・小学校での支援体制モデル構築

子ども一人一人の可能性を引き出す不登校支援

子どもの多様な背景に寄り添う 支援体制の構築



■学校外の相談支援や学習保障 Third place 「教育支援センター みらい」

概要  
 ・高知市教育委員会が所管する教育機関。カウンセラーが常駐し、不登校の児童生徒が、安心して過ごすことができる居場所づくりと個々の状況に応じた学習支援を行い、社会的自立を支援する。

- 多職種・多関係機関との連携
- 包括的相談員による多機関との連携強化
- 学校内外の相談機関・学びの場との連携

■新たな選択肢

Another place 「学びの多様化学校」

概要  
 ・学校教育法施行規則第56条に基づき不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施することができる学校。

★ 学びの多様化学校設置事業

- R8年 4月 開設  
 高知市立潮江中学校分教室 SOLA

特色のある教育課程例

- ・ 総授業時数を770時間に削減。
- ・ 朝や放課後の時間に余裕をもたせた週時程。
- ・ 各教科を横断的・総合的に扱う教科の新設、総合的な学習の時間の拡充等、探究的な学習や体験活動の充実。

弾力的に教育課程を編成することで、興味や関心に応じた柔軟な学びを行う。授業時数を組み替えることにより、通常の学校より授業時数を削減する。

- R7
  - ・法令等整備
  - ・教育課程編成(文部科学省との調整、認可)
  - ・施設環境整備
  - ・学校説明会、広報 等
- R8
  - ・高知市立中学校 学びの多様化学校分教室 開設

高知市立潮江中学校 分教室 SOLA(space of learning alternatives)

■学校概要

設置機関	高知市教育委員会
所在地	高知市棧橋通二丁目1-50 (潮江市民図書館4階)
開校時期	令和8年4月
本校	高知市立潮江中学校



■対象生徒

- ・高知市立中・義務教育学校(後期課程)に在籍する者
- ・心理的要因等により学校を30日以上欠席している者
- ・教育委員会内の検討委員会において適当と判断された者
- ・保護者が潮江中学校分教室の趣旨を理解し、本人に登校意欲がある者

■特別の教育課程<概要>

- 各学年の総授業時数を770時間で編成し、朝や放課後の時間に余裕をもたせたゆとりのある学びを創出する。
- 各教科を横断的・総合的に扱う教科を新設し、生徒一人一人の興味・関心に合わせた学びを行い、自己選択・自己決定・自己表現する力を育む。
- 総合的な学習の時間を拡充し、生徒が自分の問いに向かって探究する学びの過程を通して、主体性を育む。
- 多様なワークショップや体験的な学習を通して、生徒が自分のよさを再認識し、自己肯定感や自己有用感を高める。
- 隣接する教育支援センターとの連携、図書館等の公共施設を活用した教育活動や体験活動を通して社会性を育む。

■不登校生徒等の実態に配慮した工夫

- 市内全域から登校できるように朝の時間のゆとりを考え、9時30分開始にし、午前2時間、午後2時間とする。
- カウンセリングルームを設けて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにいつでも相談できる体制をつくる。また、必要に応じて多機関と連携した支援体制につなげることで、生徒の状況に応じたきめ細かなサポートを行う。
- 生徒が安心して過ごすことができる心の居場所づくりと、将来の社会的自立に向けて歩みを進める成長の過程を支えるため、朝夕の帯タイムに不安を軽減する活動などを取り入れる。
- 生徒自らが多様な形で他の生徒とつながりながら、学びのコミュニティに参加できるよう、少人数で関わり合う活動を位置付ける。
- 保護者に対して、保護者会や専門職による相談会等を実施し、生徒理解を促すことで共に生徒の成長を支える。

時間割(イメージ)

時間帯	月	火	水	木	金	
朝の会	9:30~9:40	朝の会				
帯タイム	9:40~10:10	帯タイム(ウォーミングアップ・バレットなど)				
1	10:10~11:00	国語	外国語	国語	外国語	国語
2	11:10~12:00	数学	社会	数学	社会	数学
昼食・昼休み	12:00~13:10	昼食・昼休み(70分間)				
3	13:10~14:00	保健体育	理科	クリエイティブ	理科	外国語
4	14:10~15:00	クリエイティブ	プロジェクト	バレット	クリエイティブ	プロジェクト
帯タイム	15:00~15:15	帯タイム(バレットなど)				
帰りの会	15:15~15:25	帰りの会				

教室配置図

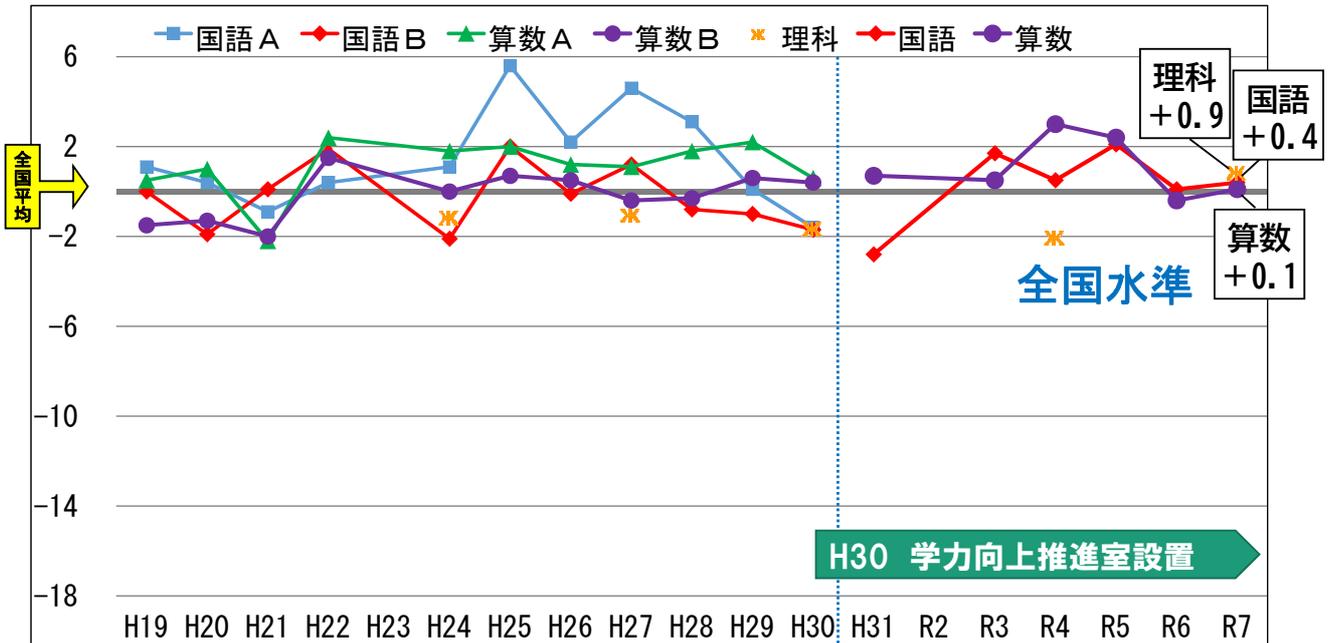


新設教科  
 ☆「クリエイティブ」(年間105時間)  
 削減する音楽、美術、技術・家庭科の時間を、横断的・総合的に学ぶ時間  
 ☆「バレット」(年間70時間)  
 削減する特別な教科道徳と特別活動の時間を、合科して体験的に学ぶ時間  
 ボランティア活動、社会体験活動、キャリア教育

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果

小学校

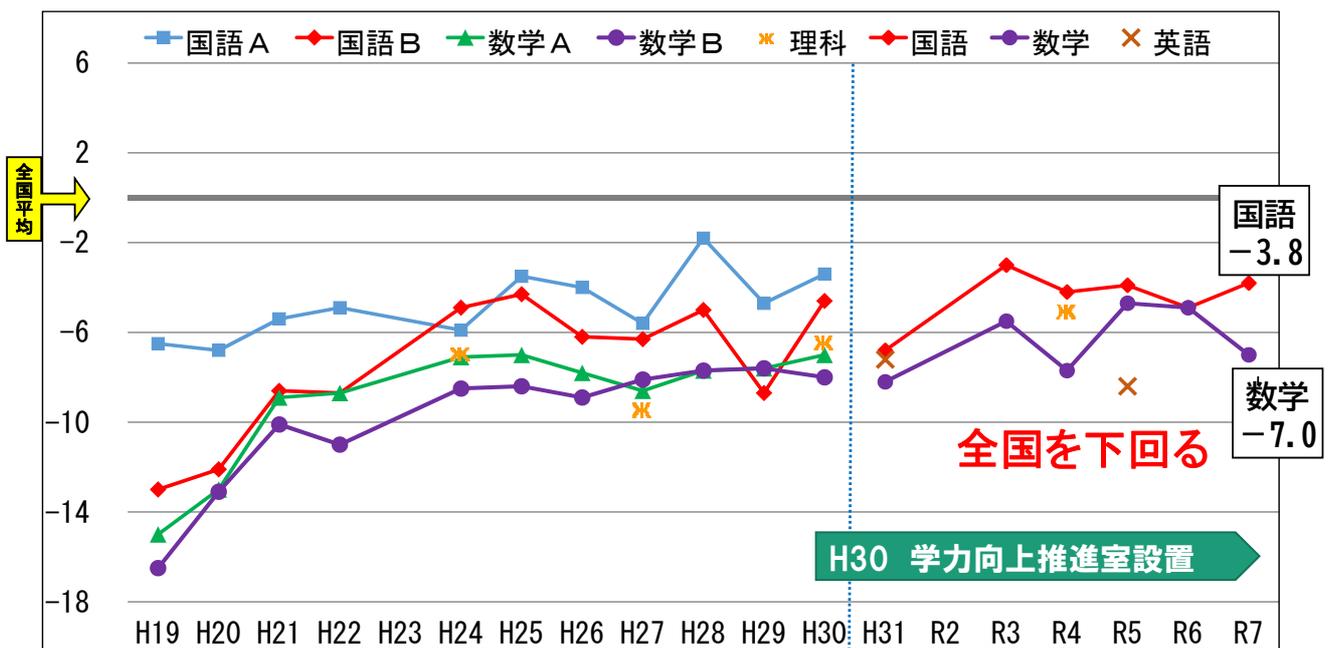
高知市平均正答率と全国平均正答率との差の推移



令和7年度 全国学力・学習状況調査結果

中学校

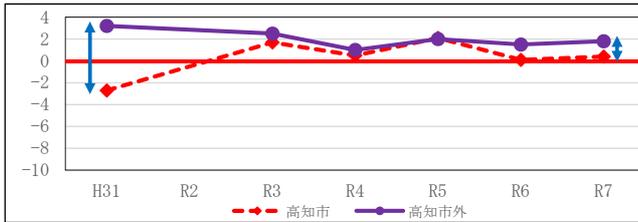
高知市平均正答率と全国平均正答率との差の推移



※ 令和7年度中学校理科は、IRTによる結果提供のため、数値は表示していません。

# 高知市と高知市外の全国平均正答率との差の推移

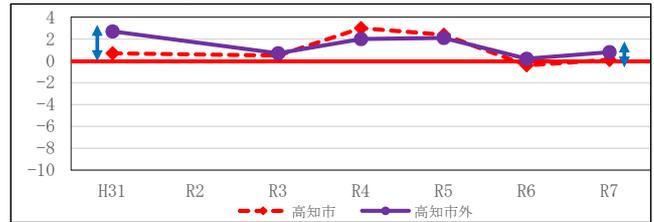
【小学校 国語】



全国平均正答率との差

小学校	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
高知市	-2.8		1.7	0.5	2.1	0.1	0.4
高知市外	3.2		2.5	1.0	2.0	1.5	1.8
市外との差	-6.0		-0.8	-0.5	0.1	-1.4	-1.4

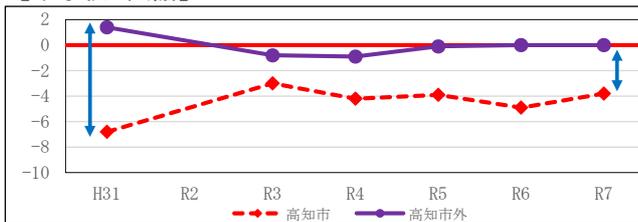
【小学校 算数】



全国平均正答率との差

小学校	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
高知市	0.7		0.5	3.0	2.4	-0.4	0.1
高知市外	2.7		0.7	2.0	2.1	0.2	0.8
市外との差	-2.0		-0.2	1.0	0.3	-0.6	-0.7

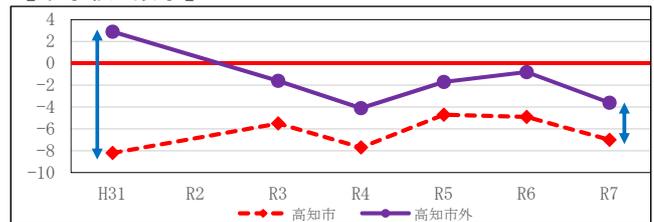
【中学校 国語】



全国平均正答率との差

中学校	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
高知市	-6.8		-3.0	-4.2	-3.9	-4.9	-3.8
高知市外	1.4		-0.8	-0.9	-0.1	0.0	0.0
市外との差	-8.2		-2.2	-3.3	-3.8	-4.9	-3.8

【中学校 数学】

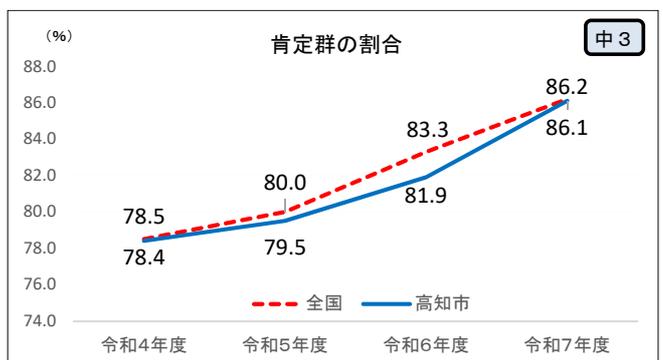
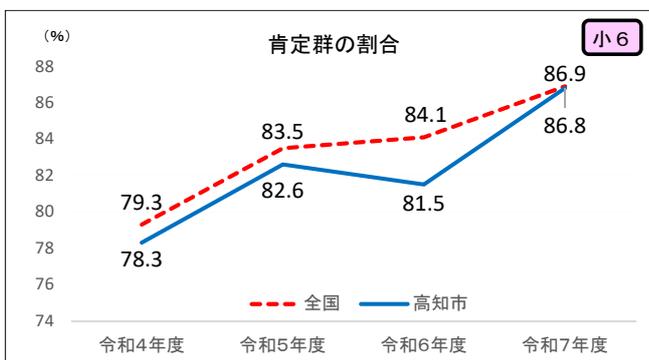
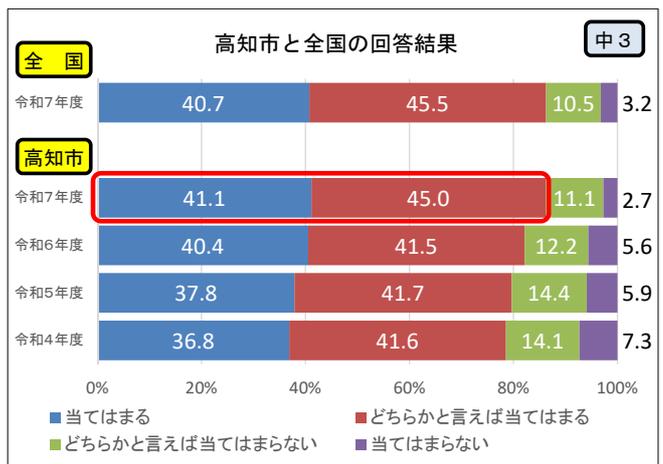
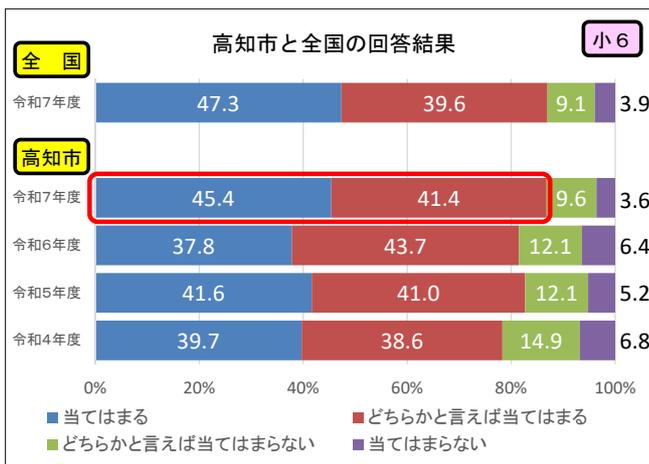


全国平均正答率との差

中学校	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
高知市	-8.2		-5.5	-7.7	-4.7	-4.9	-7.0
高知市外	2.9		-1.6	-4.1	-1.7	-0.8	-3.6
市外との差	-11.1		-3.9	-3.6	-3.0	-4.1	-3.4

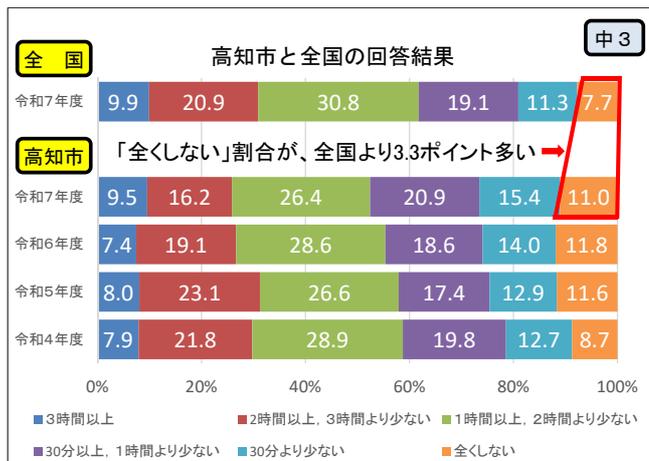
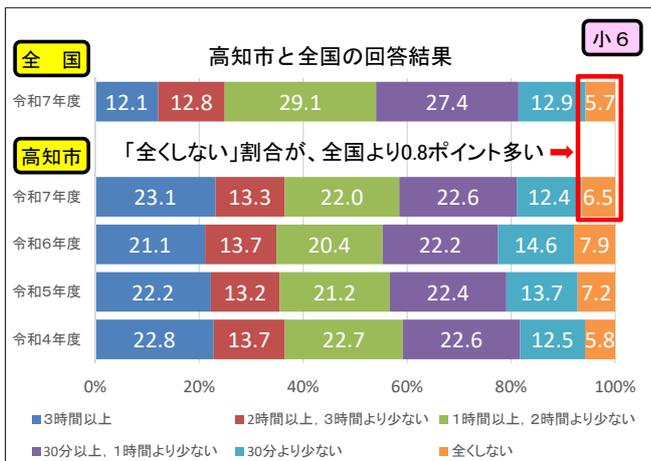
## 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果 児童生徒質問調査結果

【小5・中5】自分には、よいところがあると思いますか

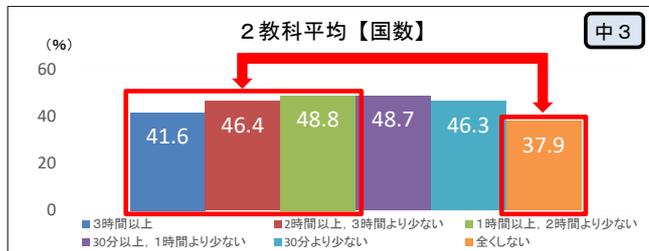
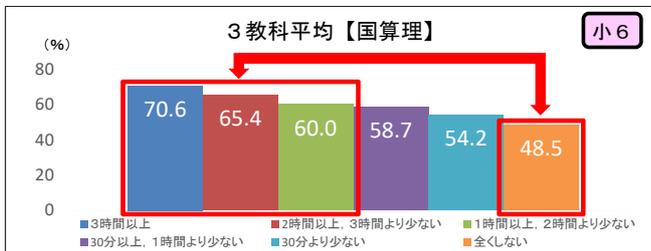


# 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果 児童生徒質問調査結果

【小17・中17】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



<質問調査と平均正答率の関連> ※ 1時間以上学習している児童生徒の学習の定着状況が高い。



## 改善に向けた取組(数学への取組強化)

### 数学教員

### 学力調査から見られる課題解決に向けた数学研修会の実施

#### 数学研修会

【第1回 9月22日(月)実施】  
・令和7年度全国学力・学習状況調査の結果分析から考える授業づくり  
「方法の説明」



【第2回 1月22日(木)実施】  
・令和7年度高知県学力定着状況調査の自校採点結果分析から考える授業づくり  
「理由の説明」

#### 推進室による支援

○教科会への訪問による指導・助言  
・改善に向けた授業への指導・助言  
・指導のポイントの発信

○指導改善に向けた教材の提供  
・生徒向け学習プリント作成・提供  
・AI型デジタルドリルを活用したワークブックの配信

自校での実践

### 主幹教諭

### 組織力を高めるための高知市主幹教諭等連絡会の実施

#### 主幹教諭連絡会

【第1回 5月1日(木)実施】  
【第2回 10月14日(火)実施】



研修での学びを自校につなぐ  
必要な取組を組織的につなぐ

# 改善に向けた取組(学習の量の確保、自ら学ぶ力の育成)

## AI型デジタルドリル活用促進の取組について

- 1 AI型デジタルドリル
  - ・ 9学年5教科の約10万問を搭載
  - ・ 自動出題、自動採点
  - ・ 間違い方に応じて、過去や前の学年の学習に戻って出題
 ⇒学習履歴・データの活用
- 2 学校における具体的な取組
  - ・ 生徒会による「学習習慣確立」に向けた取組
  - ・ 生徒の学ぶ意欲を高め、学習習慣を身に付けるための取組
  - ・ 組織的な学習改善、指導改善のサイクル化等
- 3 高知市AI型デジタルドリル活用率の変容  
〔毎日活用した割合 DAU率〕

※【DAU率】毎日活用した児童生徒の割合

校種	1学期より伸びた学校数
小学校	36／39校
中・義務教育学校	17／19校



### 令和8年度 高知市学力向上推進室の取組

高知市教育委員会 学校教育課

#### 組織力向上 教育課程の充実

**NEW** 組織力向上・教育課程編成への支援

- ★組織的な研究体制づくり、教育課程編成・充実に向けた指導・助言を行う。
- ◇指導主事、学力向上推進員等による訪問
- ◇高知市主幹教諭等連絡会の実施

**NEW** 指定校による研究推進

- ★資質・能力の育成に向け、組織的な研究体制の確立に向けた指導・助言を行う。
- ★自走できる研究体制の構築を図る。
- ★AI型デジタルドリル等の活用を促進する。
- ◇指導主事、学力向上推進員等による訪問

#### 学力強化

**NEW** 学力調査等を活用した指導改善

- ★中学校の学力課題の解決に向け、研修会や訪問支援等を通して、具体的な指導改善、生徒の実態に応じた取組の工夫について、指導・助言を行う。
- ◇全国学力・学習状況調査結果等を踏まえた研修会の実施、指導改善例の発信
- ◇AI型デジタルドリルの活用方法等の発信
- ◆教科ネットワークを活用した授業改善の取組

**NEW** 学力調査等を活用した検証改善

- ★各学力調査を活用した検証改善サイクルの確立に向けた指導・助言を行う。
- ・小学校「学力向上への取組計画」
- ・中学校「授業改善プラン」に基づく支援
- 訪問：全小・中・義務教育学校
- ◇指導主事、学力向上統括スーパーバイザー等による訪問

#### NEW 「ことばの力」の育成

##### 未来を紡ぐことばプロジェクト

「ことばの力」を鍛える教材提供

- ★授業、授業外の学習で、繰り返し使い、学習することで、「ことばの力」を高める。
- ◇「ことばの力」を高める教材の発信

指定校による研究推進

- ★自分の考えを表現することや他者との対話を楽しむことができる探究的な学びを推進する。
- ◇指導主事、学力向上推進員等による訪問

読書活動の充実

- ★学校図書館の活用を促進するとともに、関係機関との連携を強化し、読書活動の充実を図る。
- ◇関係機関との連携 等

#### 学校経営計画に基づく訪問

- ★学校経営計画に基づく組織的な学校運営に対しての指導・助言を行うことで、検証改善サイクルの確立を図る。
- ◇学力向上推進員(学校経営スーパーバイザー)による訪問
- :全小・中・義務教育学校

#### 初任者育成に向けての支援

- ★若年教員育成や組織体制づくりへの指導・助言を行う。
- ◇学力向上推進員等による訪問
- :全小・中・義務教育学校

県指定事業 (令和の授業DX、授業を見る眼を鍛える講座、対話型AIを活用した学習支援実証研究事業 等)

# キャリア教育の充実

子供たちが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けていくとともに、夢や志を持つことができるようキャリア教育の充実を図ります。  
(第2期高知市教育振興基本計画「基本方針1<キャリア教育の充実>」から)

1 環境づくり  
2 関係機関との連携  
3 実践的学習活動の推進  
4 評価・改善の仕組みづくり

市資料3

## これまでの成果と課題

### <成果>

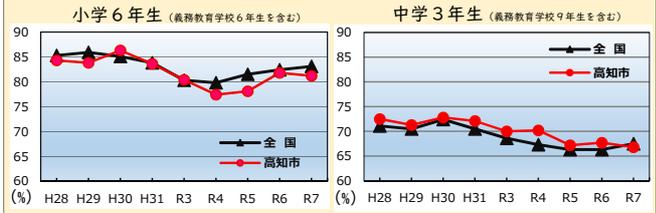
各学校においては、児童生徒等の実態に応じて地域や関係機関と連携を図りながら取組を進めており、本年度の「児童生徒集団宿泊活動」は、41校で実施（予定も含む）されている。また、全国学力・学習状況調査における児童生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、小学校における肯定的回答の割合が減少傾向であったが、令和6年度では81.8%まで増加し、全国値との差も-0.6ポイントに縮まっている。また、中学校において肯定的に回答した生徒の割合は全体として減少傾向であるが、平成28年度から令和6年度においては全国値を上回っている。

### <課題>

コロナ禍において、中学校等における職場体験活動を中止した学校が増え、令和7年度における実施（予定）校は、高知市立中・義務教育・特別支援学校全体で8校となっている。各学校においては従来型の体験活動から一部内容を変更しながら取組を進めており、それらの現状を踏まえた支援を行う必要がある。

## 「将来の夢や目標を持っていますか」における肯定的回答の割合

(全国学力・学習状況調査児童生徒質問調査から)



## 現在及び今後の取組

### 主要施策① 体験活動の充実

「ひと・もの・こと」との「つながり」や「関わり」を通して、自分らしい生き方が見出せるよう、発達段階に応じた体験活動の充実を図る。

#### 児童生徒集団宿泊活動事業

自然に恵まれた環境の中での宿泊を伴う集団の体験活動を通して、自主性・自立性及び自治性のかん養、望ましい人間関係の育成、健康増進を図る態度の育成を目指す。心身ともに調和のとれた発達を図るとともに、協力してよりよい社会を形成しようとする人間の育成に努める。

#### 中学生体験活動推進事業

中・義務教育学校及び特別支援学校の生徒が地域の人々に学ぶことで、勤労の喜びや感謝の心、自立心を育成していく体験活動を支援する。  
この体験活動を通して豊かな感性や創造性などを自ら高め、自分なりの生き方を見つけることができるよう支援するとともに「生きる力」の育成に努める。



#### <市長部局等との連携>

産業政策課等との情報共有・連携を図ることで、児童生徒や教員、保護者等に対する高知市の現状等の情報提供や各種事業・取組の充実を進める。

### 主要施策② 志を高める教育の推進

子供たちが将来への希望を持って進路が選択できるよう、学習支援・進学支援や表彰活動に継続的に取り組む。

新規(R8~)

#### 高知市キャリア教育推進事業

地域の伝統文化や県内の文化・産業を知る機会を拡充するために、各学校における地域の文化や産業の継承に取り組む学習活動(講演会等)及び県内企業や産業を学び体験する活動(企業見学等)に必要な経費について補助金を交付する。

※ 高知県教育委員会による事業を活用して令和8年度から新たに実施する予定。

各学校におけるキャリア教育講演会や企業見学等の取組を保障し、児童生徒の実態に応じたキャリア教育を促進する。

地域企業・産業等への理解  
体験活動等の機会充実  
勤労観・職業観等の形成

#### こうち志議会

生徒が夢や希望を実現できる社会や未来について学び、実際の議場に登壇して、自分の考えを述べたり質問したりすることを通して、生徒に市政のしくみについて理解を促すとともに、地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う自覚を育てることを目的として「こうち志議会」を開催する。(令和7年度で8回目の実施。)(高知市立中・義務教育・高等学校から代表生徒が参加。)

市長部局との連携を図りながら、高知市全体としての現状や方向性等の確認を行い、各生徒からの質問の具体化等、市政への理解等を促進する。

高知市、地域に対する理解や  
愛着の促進・高揚  
社会の一員であることの自覚や意識形成

進路ノートの発行

高知チャレンジ塾

児童生徒表彰の実施

高知県・高知市 知事・市長及び教育長連携会議

令和8年 1月 19日(月)

高知市の取組及び「保幼小の架け橋プログラム事業」の状況について

高知市教育委員会 学校教育課

1 保幼小連携推進地区事業等の取組

- R7年度 41全校区のべ133園(11月現在)
- 学校訪問や要請支援、計画書・報告書により取組状況を把握・支援
- 取組の周知・啓発
  - ・保幼小全教職員配付の実践事例パンフレット作成・配付
  - ・全小担当者等研修(保幼小連携・接続合同研修会)での実践報告
  - ・高知市幼児教育推進協議会(代表者・関係者委員)での報告・協議



【保幼小連携・接続実践事例パンフレット】(R7.3)

令和7年度 保・幼・小連携推進地区事業実施地域(各校区の保育所・幼稚園・認定こども園一覧)

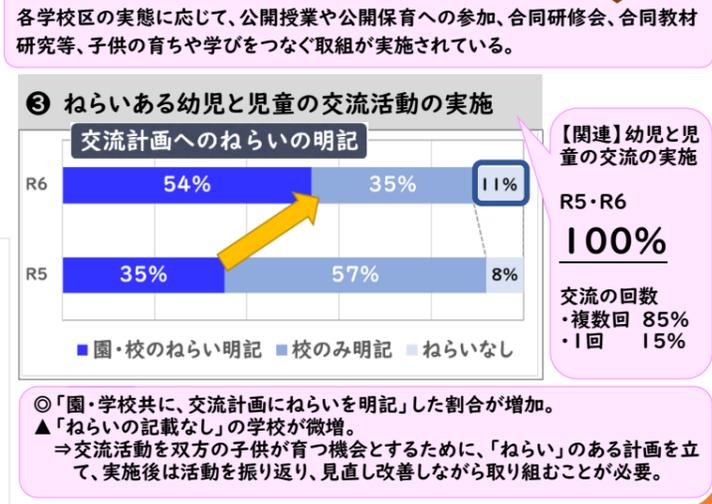
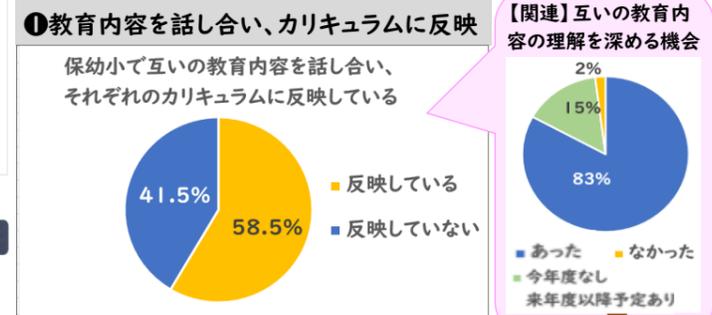
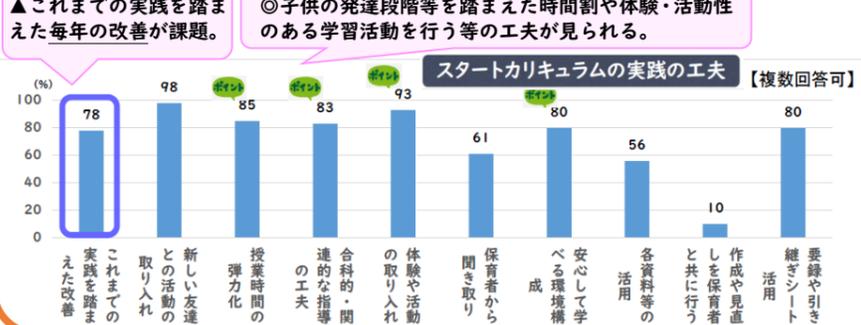
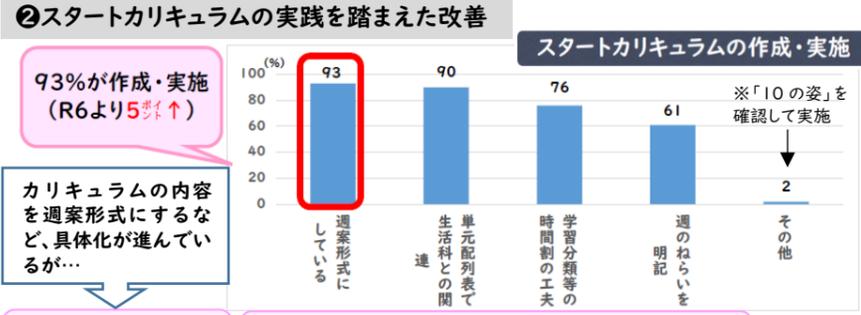
2025.11 高知市教育委員会学校教育課

学校名	学校名	学校名	学校名	学校名	学校名	学校名	学校名
3 第四小	上街 保育園	石立 保育園(公)	河ノ瀬 保育園(公)	城山 保育園	26 朝倉小	朝倉 保育園(公)	朝倉中央 保育園
4 第六小	丸の内 保育園	こうちまち 保育園	高知聖母 幼稚園	☆たかしろ 乳児園	27 鴨田小	鴨田 保育園	神田みどり 保育園(公)
5 江ノ口小	江ノ口 保育園	あたご 幼稚園	高知聖母 マリア園		28 一ツ橋小	※江ノ口 保育園	※あたご 幼稚園
6 江陽小	江ノ口東 保育園	江陽 保育園	丑之助 学園	※桜井幼 幼稚園	29 介良小	愛善 保育園(公)	介良西 保育園(公)
7 旭小	旭 保育園(公)	愛育会 保育園	※ポッポ 保育園	もみのき 幼稚園	30 大津小	大津 保育園(公)	大津東 保育園
8 旭東小	※愛育会 保育園	福井 保育園	ポッポ 保育園	高知学園 高知幼稚園	31 朝倉第二小	若葉 保育園(公)	針木 保育園
9 潮江小	ふくし園	華山 保育園	潮モンテッソリー 学園	※高知愛 児園	32 潮江南小	高知愛児 園	港亨 保育園
10 潮江東小	潮江 双葉園	潮江第二 双葉園			33 神田小	神田 保育園	杉の子 幼稚園
11 小高坂小	宮前 保育園(公)	小高坂 保育園(公)	小高坂 双葉園	清和 幼稚園	34 泉野小	あさみの 保育園	ひなぎく 保育園
12 昭和小	常盤 保育園	ちより 保育園(公)	びすた 保育園	やえもん 幼稚園	35 一宮東小	一宮 幼稚園	東山 保育園
13 泰小	泰中央 保育園(公)	まるばし 保育園	いづみ 保育園		36 十津小	十津 保育園	※みさと 幼稚園
14 初月小	みかづき 幼稚園	初月 保育園	一ツ橋 保育園		37 横浜新町小	横浜新町 保育園	わらべ館
15 横浜小	横浜 保育園	瀬戸 保育園	瀬戸東 保育園	※杉の子 せと幼稚園	38 介良潮見台小	中野 保育園(公)	
16 長浜小	長浜 保育園(公)	おさなごの 園	杉の子せと 幼稚園		39 横内小	※塚ノ原 保育園	※もみの ぎ幼稚園
18 浦戸小	※おさなご の園				40 鏡小	☆かがみ 保育園(公)	
19 三里小	三里 保育園	種崎 保育園	みさと 幼稚園	※十津保 保育園	42 春野東小	春野中央 保育園(公)	春野平和 保育園(公)
20 五台山小	五台山 保育園	五台山 吸江 保育園	高須第二 幼稚園		43 春野西小	春野弘岡 上保育園(公)	春野弘岡 中保育園(公)
21 高須小	高須 保育園	新木 保育園	高須 幼稚園	葛島 保育園	44 はりまや橋小	南街 保育園	さえんば 保育園(公)
22 布師田小	布師田 保育園				80 行川学園	※☆かが み保育園(公)	
23 一宮小	一宮 保育園(公)	あゆみ 保育園	あおい 保育園	※一宮 幼稚園	81 土佐山学舎	とさやま 保育園(公)	
24 久重小	久重 保育園(公)						

2 これまでの成果と課題【R7年度「スタートカリキュラムの実施状況等アンケート」結果(全41校)等より】

【成果】スタートカリキュラムの見直しによる指導の工夫や、教職員連携・交流活動の内容の改善が進み、小1プロブレムの発生率が3%にまで減少。  
 ・各校区の実態に応じた取組に向けて、保幼小の教職員で連携内容等を見直し、共に学ぶ校区が増加。(R7 19校区に支援し、実施 ※当年度9月末時点)  
 【課題】生活科の指導  
 ・互恵性のある継続的な交流活動(事前事後の対話による、学びや育ちの共有)

小学校学習指導要領等を踏まえた成果指標の達成状況  
 ★小1プロブレム発生率 3%以下 (R6 3% ⇒ R7 3%)  
 ①教育内容を話し合い、カリキュラムに反映 50%以上 (R6 58%) ※R6からの指標  
 ②スタートカリキュラムの実践を踏まえた改善 100% (R6 90%) ⇒ R7 78%)  
 ③ねらいある幼児と児童の交流活動の実施 90%以上 (R5 92%) ⇒ R6 89%)



3 「保幼小の架け橋プログラム事業」について

市教委 子育て未来部 県幼保支援課 の連携支援による取組の強化及び市内全域への普及

春野東小学校区の実践の横展開  
 公開授業 実践発表 視察対応

準指定2校区を重点的に支援 (江陽小学校区・朝倉第二小学校区)  
 授業・保育公開事後協議 連絡会 交流活動

◎意識改革に伴う保育・授業改善  
 ・子供は自分で考えて、できる! →子供に委ねる場面を増やす  
 ・思いや願いを大切にしたい! →子供の言葉で授業を創る  
 ・学びの環境があれば子供は自ら学ぶ! →子供が主体的に学べる環境を意図的に設定

生活科の水鉄砲遊びで、水に弱い紙の的を丈夫にしようと、子供が試行錯誤していることに気付く。  
 →園では失敗しないように予め紙にフィルムを貼ってお膳立てしていたが、気付きのチャンスを奪っていた。園の水鉄砲遊びから紙の的を作ることを経験させよう!

R7年度 ※印は、小・義務各校1名以上の研修  
 ◆架け橋プログラムの理解のための研修会 ※ ・スタートカリキュラム学校訪問(全41校)【4月~】  
 ◆校長会・協議会等での架け橋事業の取組周知【5月~】  
 ◆保幼小接続に関する研修I期【6/10】 ※ → 春野東小学校公開授業  
 ◆保幼小連携・接続合同研修会【1/29】 ※  
 ◆モデル地域等の実践及び先進的な事例をまとめたパンフレット配付【3月】(高知市の全園・校教職員) 等